



2021年3月30日

～DXを活用したサービス一体型商品で事故・災害を未然に防ぎ、影響を減らし回復を支援～
新商品シリーズ「DX valueシリーズ」の展開について

MS&ADインシュアランス グループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原 典之）は、経済的損失に備える保険本来の機能に加え、事故・災害を“未然に防ぐ”機能や事故・災害の“影響を減らし回復を支援する”機能を持つサービス一体型商品を、保険の提供価値変革を実現する「コア商品」と位置付け、商品ラインアップを拡充していきます。

一連のサービス一体型商品は、“デジタルトランスフォーメーション（DX）を活用した新たな価値提供”の意味を込めて「DX valueシリーズ」の名称で展開します。

新シリーズとして、ドラレコを活用した「見守るクルマの保険（ドラレコ型）」「Fードラ」を第一弾商品、健康管理アプリを活用した「健康経営支援保険」を第二弾商品と位置付け、2021年4月よりシリーズ第三弾商品「見守るサイバー保険」のトライアル販売を開始します。

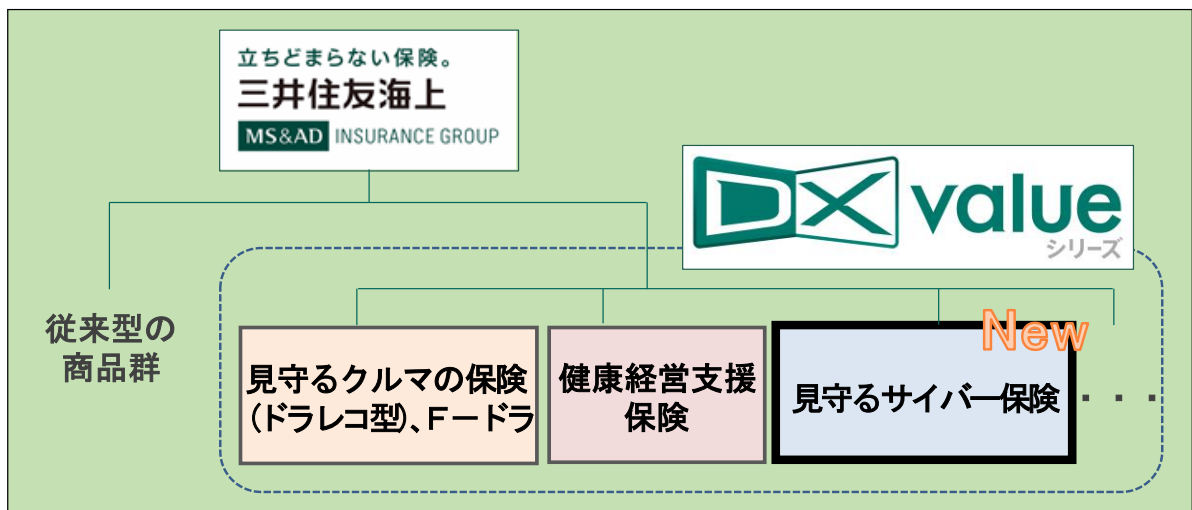
三井住友海上は、今後、積極的に「DX valueシリーズ」の商品・サービス開発を進め、保険の新しい価値を提供することで、安心・安全な社会の実現に貢献していきます。

1. DX valueシリーズ

(1) 開発の背景

当社は、これまで、MS&ADインシュアランス グループの価値創造ストーリーに則して、「社会価値創造型商品・サービス」の開発を進めてきました。

この考え方を進化させ、事故・災害を“未然に防ぐ”機能や事故・災害の“影響を減らし回復を支援する”機能を有するサービスを提供し、保険本来の機能を越えた新しい価値をお届けするため、サービス一体型商品を「DX valueシリーズ」の名称で括りだし、積極的な商品・サービス開発を進めます。



(2) 目指す姿

経済的損失に備える保険本来の機能である「補償」は、これまでもさまざまな切り口で商品開発を進め、お客さまに安心と安全を提供してきました。今後は、保険本来の機能だけではなく、保険がお客さまに提供できる価値とは何かを見直し・再定義していく必要があると考えています。

一方で、「他業態企業との協業・共創の一般化」や「データやデジタル技術の飛躍的な発展」により保険本来の機能を越えた商品・サービスの提供が可能になっています。

そこで、当社は商品戦略の柱として「DX valueシリーズ」を展開し、事故・災害を防ぎ、回復を支援するサービスを通じて損害保険事業をさらに成長させることで、安心・安全な社会の実現に貢献していきます。




2. 第三弾新商品「見守るサイバー保険」

2021年4月より、シリーズ第三弾商品「見守るサイバー保険」のトライアル販売を開始し、2021年度下期を目途に本格展開を予定しています。

「見守るサイバー保険」は、サイバー事故による損害を補償する事業者向け保険「サイバープロテクター」に、セキュリティソフト「防検サイバー※¹」を活用したサービスを一体化した商品です※²。

「防検サイバー」は、サイバー攻撃を検知して事故を“未然に防ぐ”機能を発揮するほか、ウイルス感染した場合も速やかな防御対応により、事故の“影響を減らし回復を支援”します。

サイバー攻撃の脅威からお客さまを守り、事故防止のためのサービスと被害を最小化する保険を一体化させ、「見守るサイバー保険」として提供します。

| 「未然に防ぐ」 | 「影響を減らし回復を支援する」 |
|--|--|
|  <p>ウイルス感染対策とサイバー保険が 一体となった価値変革商品</p> |  <p>防検サイバー</p> <ul style="list-style-type: none">・ウイルス感染被害を防御・ウイルスに加え不審な振る舞いも検知可能・迅速な感染経路の特定、ログ保全  <p>サイバープロテクター Cyber Protector</p> <ul style="list-style-type: none">・情報漏えい等による高額な賠償損害を補償・サイバー攻撃への各種対応費用を幅広く補償・専門事業者の紹介も可能 |
| <p>防検サイバーにより、サイバー攻撃を検知して事故発生を抑制し、ウイルス感染時も速やかな防御で被害を最小化する。</p> | <p>保険金支払時の公表要件に「防検サイバー」による不正アクセス検知を追加することで迅速な初動対応を実施する。</p> |

※1：サイバー攻撃への防御だけではなく、脅威の侵入を素早く検知し、被害を最小限に止める「次世代エンドポイントセキュリティ(EDR)」と24時間365日の監視サービスを提供する「管理セキュリティサービス」がパッケージとなったサービスです。

※2：「サイバープロテクター」の保険金支払時の公表要件（公的機関への届出やメディア媒体での社告・会見等、事故発生を客観的に明らかにするための要件）に、「防検サイバー」による不正アクセス検知を追加することで、迅速な初動対応を可能としました。

3. 今後の取組

当社は、今後、事故・災害を“未然に防ぐ”機能や事故・災害の“影響を減らし回復を支援する”機能を持つ「DX valueシリーズ」の商品・サービス開発を積極的に進めることで、保険本来の機能を超えた新しい価値をお客さまに提供していきます。

以上

添付別紙：「DX valueシリーズ」の商品内容

「DX valueシリーズ」の商品内容

1. 「見守るクルマの保険（ドラレコ型）」の概要

第一弾商品の「見守るクルマの保険（ドラレコ型）」は、自動車保険に専用ドライブレコーダーを活用したサービスを組み合わせた商品です。専用ドライブレコーダーは「安全運転支援アラート」として前方衝突・車線逸脱・高速道路逆走等のアラートにより事故を“未然に防ぐ”機能を発揮します。加えて、専用ドライブレコーダーが一定以上の衝撃を検知した場合、専用安否確認デスクのオペレーターにつながる「事故緊急自動通報サービス」や専用ドライブレコーダーの録画映像およびその映像からご契約車両と相手方車両の挙動（進行方向やスピードなど）をAIが分析するドラレコ型AI事故状況説明システム「A i's（アイズ）」によりスムーズな事故処理を実現し、事故の“影響を減らし回復を支援”します。

| 「未然に防ぐ」 | | 「影響を減らし回復を支援する」 | |
|--------------------------------------|-------------|--|--|
| 安全運転支援アラート | | 事故緊急自動通報サービス | |
| 前方衝突アラート | 車線逸脱アラート | <p>①専用ドライブレコーダーが衝撃を検知</p> <p>②専用安否確認デスクに自動通報（位置情報等を送信）</p> <p>③専用ドライブレコーダーの通話機能でオペレーターがお客さまをサポート</p> <p>緊急時には、救急車の出動要請^(注)やレッカー業者を手配！</p> <p><small>(注) お客さまご自身の119番通報が困難であることの確認が取れた場合等に限り。</small></p> | |
| 高速道路逆走注意アラート | 指定区域外走行アラート | | |
| その他アラート（急加速・急減速・ふらつき） | | | |
| ドライブレコーダーのアラートによって安全運転が促され、事故を未然に防ぐ。 | | ドライブレコーダーを活用した事故対応 | |
| | | 自動通報や録画映像のAI分析により、スムーズな事故処理が実現される。 | |

2. 「健康経営支援保険」の概要

第二弾商品の「健康経営支援保険」は、ケガや病気により働けなくなった場合の収入補償に、健康管理アプリ「Myからだ予想」を活用したサービスを組み合わせた商品です。「Myからだ予想」は将来の健康リスクを見える化する機能により、行動変容を働きかけ、疾病を“未然に防ぐ”機能を発揮します。加えて、日々の健康活動チャレンジ機能によって疾病を予防するとともに、生活習慣病と診断された場合には改善活動をサポートし、疾病の“影響を減らし回復を支援”します。

| 「未然に防ぐ」 | | 「影響を減らし回復を支援する」 | |
|-----------------------------------|--|--|--|
| 健康取組のサポート | | | |
| | | | |
| 健康リスクの見える化機能で行動変容を働きかけ、疾病予防活動を促す。 | | 日々の健康活動「チャレンジ」によって、疾病を予防するとともに、生活習慣病と診断されてしまった場合には、そこからの回復のための活動をサポートする。 | |